

No.15

May.2006

“あ”はすべての原点、“そ”は蘇生。
阿蘇は原点に返って復活する場所。
素顔の阿蘇に触れ、
自分自身を探してみませんか。

素顔の**阿蘇**を探す旅。

大陸

ASO Continent



(左) 谷岡鈴子さん、「私設の天文台を譲り受け移築したので、星を見る会も予定しています」
 (中) 校舎内にあるカフェ「木の森舎」。オリジナルブレンド 500円、カレーライス 500円、チーズケーキ 350円
 など、工芸品の販売も

今も聞こえる 子どもの歓声

夏の日差しに、校庭の木々が濃い影を地面に落としていた。高森町の旧・上色見小学校。雄大な根子岳に抱かれるように建つ木造校舎は現在、NPO法人「阿蘇フォークスクール」として、工芸などの体験講座、コンサート、クラフトフェアなどを開催している。

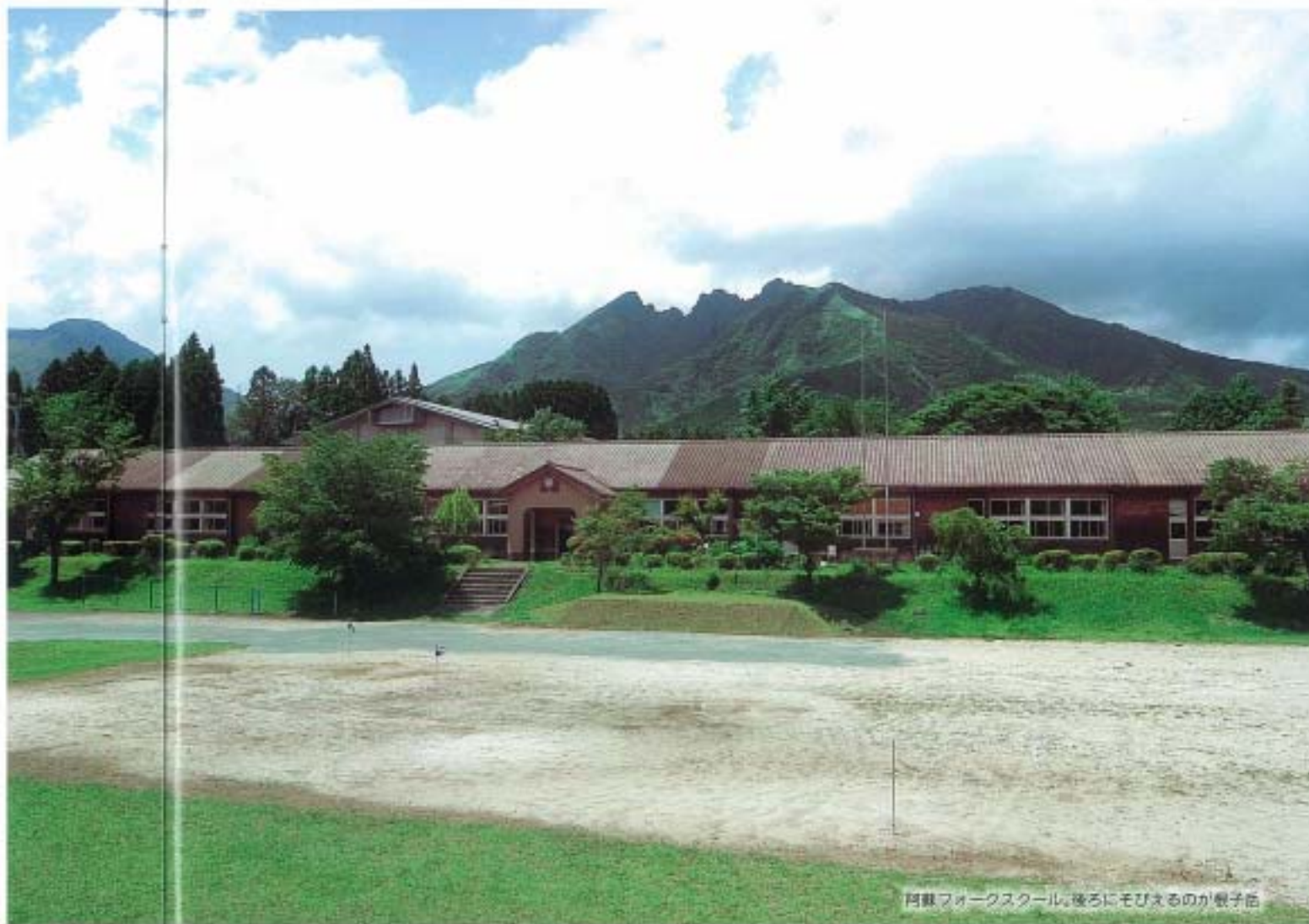
玄関で靴を脱ぎ校舎に入ると、長い廊下が左右に伸びていた。楽しそうにおしゃべりをする女の子の姿や聞こえてくる子どもの歓声に、ここが一度は廃校になったことを一瞬忘れてしまつた。子どもの声に導かれて教室に入ると、そこは「木のカラクリ玩具」の部屋。色彩豊かな木製パズルや、木製の玉を転がす迷宮などが並び、大人でも

思わず夢中になる。大きな音をたてるものでも、音色が優しいのが木製おもちゃの良さだ。「輝らないって、駄々をこねるお子さんもいるんです」。事務局兼カフェ担当の谷岡鈴子（れいこ）さんが、子どもたちの姿に目を細めた。

人々の思いが 校舎を残した

谷岡さんは熊本出身。ご主人と定年後に高森町で暮らすと準備していたが、フォークスクールが開校しスタッフとして参加したいと予定より早く町の住人となった。「ここを訪れた人が癒されるのは、ここにしみこんだ空気のせいもあると思うんですよ。こんな場所は一から作れるものじゃないと、校舎に漂う雰囲気を感じて。今年5月、理事長に就任した山田良典さんも同じ思

いだ。「私も外から来た人間ですが、子どもは3人とも上色見小の卒業生です。閉校と聞き、なんとか校舎を残せないかと思っていたら、ちょうどアメリカのフォークスクールについて勉強した知り合いがいて話を聞いたんです。これはいいと思い、NPO設立を思いつきました」。山田さんはさまざまな書類を作り、地域の人々を説得。一旦同意を得ると、地元パワーは大きな後押しとなった。112年の歴史に幕を閉じた上色見小学校は、平成16年10月に阿蘇フォークスクールとして開校され、築52年の木造校舎に賑やかな人々の声がよくあがった。「運営は地区住民が中心となり、イベントの時はそれぞれ総出で準備するんですよ。今は通常でも農作物を販売するなど、スクールの運営で



阿蘇フォークスクール。後ろにそびえるのが根子岳

根子岳のふもとに漂う 優しい時間

～高森町・阿蘇フォークスクール～

平成15年に閉校となった高森町、上色見小学校。
 一度役目を終えた懐かしい木造校舎に、
 再び子どもの歓声がよくあがり、人々の笑顔が戻った。

陶芸にレッツトライ!



「こんな感じのを作りたいんですけどー」

土の感触が気持ちいい

大海製菓さん、まずは先生がお手本



「先生、助けてくださいー」



ピアマグ製作中



シリアルボールに模様づけ

形成終了。出来上がりが楽しみ!



NPO 法人 阿蘇フォークスクール

- 阿蘇郡高森町上色見 1390-1
- TEL/FAX.0967-62-0027
- 開校時間/AM10:00~PM5:00
- 休校日/水曜日
- HP: <http://asofolkschool.eco.to/>
- E-mail: asofolkschool@hotmail.co.jp

体験は、陶芸、草工芸、木工玩具、シルバーアクセサリーほか。毎月第1日曜はスーパー紙飛行機、第4日曜日は木の玩具作り体験を定期開催。予約、料金等は要問い合わせ。



(左)「木のカラクリ玩具」の教室。気が済むまで思い切り遊ぼう
(右) 山田良典理事長。「年配の人は校舍を借かしがってくださりますが、若い人にもかえって新鮮に見えるようですよ」



棚下に並ぶ絵本



もつと地元も潤うような仕掛け作りをしたいと思っ
ています」

陶芸体験にリフレッシュ

いろいろなカリキュラムのうち、今回は陶芸にチャレンジ。先生で陶芸家の大海智賀(おおうみ・ちか)さんも、この校舍と根子岳に「一目ぼれ」した移住者である。

陶芸初体験で、シリアルボールを作ることにした。難しい土練りは先生の手で終わらせてある。しっとりとした土を丸く成形し、中央を親指で窪ませ広げていく。側面ばかり気にしていたら底がやたらと厚くなっていた。「底を親指で押し、もつと薄くしていいですよ。焼くと縮みますから、考えているサイズより大きく作ってください」と先生がアドバイス。模様は、葉っぱを押し付けて、葉脈をつけるという先生の案をいただき、早速校庭から蕨の葉を調達。最後に、ボールの底に名前を刻んで終了だ。



大海先生の作品



おにぎりは、昨年の
交流田植えでとれた
お米を使って地元
の人が手作りしたもの



坂口さん親子、植え方にも、慣れてきました(?)



挨拶中の山隈輝晃交流農園長

るもう一つの滝から引いて
います。水がいいからおいしい
い米ができますよ」と語る。
山隈さんはじめ地元の人々
が、日ごろの農作業の合間に
交流農園の水田を管理。この
日も、植えやすいようにと朝
から耕しておいた。台風時の
管理など苦労もあるが、「子
どもたちが喜んでくれるば
それでいいんです」とうれし
そうだ。

「子どもが、どうやってお
米ができるのかわかってく
れたらうれしいですね」と語
る坂口敬子さんは、小学校一
年生の稲斗くんと幼稚園に
通ういちゃんふたりと
熊本市から初参加。「泥の中
は気持ちよかったですよ」と稲
斗くんとるいちゃんも笑顔
だ。稲斗くんの友人で、同じ
く小学校一年生の井上雄太
くんの父親、昌治さんは毎年



白糸の滝交流館／交流農園

- 阿蘇郡西原村滝
- イベントなどの問い合わせは、西原村役場 総務課
- TEL.096-279-3111 FAX.096-279-3506

白糸の滝交流館「糸舞季」

- TEL.096-279-1136

白糸の滝に平成16年オープンした白糸の滝交流館「糸舞季(しぶき)」では、滝の清流を見ながら西原村産のお米を使ったおにぎりやそうめん流し(夏のみ)が楽しめる。



白糸の滝の涼しげな水音が聞こえる西原村の交流農園に、
たくさん子どもたちが大集合。元氣一杯に田植え開始!

泥の中は、気持ちがいいよ!

田んぼの感触に大歓声

「ひゃあ〜」約40人の子どもたちが田んぼに足を踏み入れた途端、悲鳴があがった。はだして入る田んぼの感触がくすぐったいのが、みな目を輝かせている。ここは、西原村の白糸の滝交流農園。都市との交流を目的に開設された「白糸の滝交流館」と交流農園では、初夏に田植えとバーベキュー、夏はブルーベリー狩りとそうめん流し、そして秋には稲刈りとカライモ掘りを開催し、熊本市内から子どもたちが保護者と参加している。

6月中旬の日曜日、梅雨独



特の曇天だが、子どもたちの笑顔が温気を吹き飛ばすようだ。横一列に並び、田植え開始。最初は動作がぎこちなく、一列植え終わるのに時間がかかったが、子どもは何でも習得が早い。すぐにペースがあがり、あつという間に水田一面に小さな苗が並んだ。まっすぐに並んでいないのは手植えのご愛嬌。倒れている苗も、すぐに青く力強く成長するはずだ。

子どもたちが喜んでくれたら

この水田を管理している交流農園長の山隈輝晃さんは、「一水は、白糸の滝上流にあ

参加組。「収穫も楽しいんですよ。秋の稲刈りと芋掘りも参加するつもりです」

植えて、収穫する。それだけのことも、きつと子どもたちにとって自然の恵みを体感するすばらしい教材になるはずだ。西原村との交流が、彼らをまたひとまわり大きく成長させたに違いない。

伝統 歴史ある勇壮な祭りと、秋を告げる神々の祭典

火伏地藏祭

400年の伝統がある火伏祈願のまつり。善段は地藏堂に安置されているお地藏様が神輿に担がれ練り歩き、五ヶ瀬川で神輿ごと何度も川に下ろされる勇壮な「裸みこし」で知られる。各町内で奉納される、日用雑貨で造られた「造り物」も必見。

- 期日/平成18年8月26日(土)、27日(日)
- 場所/上益城郡山都町馬見原
- お問い合わせ/山都町商工会藤原支所
- TEL:0967-83-0037



中江岩戸神楽定期公演

毎年4月～11月の毎月第一日曜日(10月は除く)に、菖菰のふもとにある「中江神楽殿」にて開催。三十三座ある演目の一部が披露される。



- 期日/9月の開催:平成18年9月3日 13:00～15:00
- 場所/阿蘇市波野 中江神楽殿
- お問い合わせ/阿蘇市波野支所
- TEL:0967-24-2001

第15回神楽フェスティバル

波野の秋の風物詩。波野の岩戸神楽ほか、黒外の神楽も披露される。いろいろな神話を題材にした神楽や、演舞者が高さ10mの竹に登る「天のメ」など、勇壮で幻想的な神話の世界が繰り広げられる。



- 期日/平成18年10月7日(土)、8日(日)
- 場所/阿蘇市波野 道の駅なみの「神楽苑」
- お問い合わせ/阿蘇市波野支所 神楽フェスティバル実行委員会
- TEL:0967-24-2001

花 夏から秋へ、阿蘇を彩る花々

ヒゴタイ&コスモス祭り

8月上旬から咲き始めるヒゴタイは、暖色系のかわいらしい球体が特徴で産山村の村花にも指定されている。9月中旬からは約30万本のコスモスが咲き始め、高原の一足早い秋の訪れを感じる事ができる。



- 期日/平成18年8月1日(火)～10月中旬
- 場所/阿蘇郡産山村 ヒゴタイ公園
- 料金/高校生以上200円、中学生以下無料
※「花の温泉館」入浴割引券付き
- お問い合わせ/ヒゴタイ公園キャンプ村
- TEL:0967-25-2777



700万本のそばまつり

高原の冷涼な気候が良質のそばを育む波野。純白のそばの花で彩られたそば畑は、波野に秋の訪れを告げる。まつりの日は、花で真っ白になった約6.5haのそば畑を周辺に觀賞でき、神楽上演や特産品販売もある。



- 期日/平成18年9月10日(日)
- 場所/阿蘇市波野 JR波野駅より1km
- お問い合わせ/阿蘇市波野支所
- TEL:0967-24-2001
- ※台風等の影響により、中止される場合もあります。